

商工会報

# あち

第19号

発行 阿智村商工会  
43-2241  
編集 会報編集委員会  
印刷 龍共印刷(株)



商工会法施行30周年

## 商工会もいよいよ30歳!!

「商工会の組織等に関する法律」が施行されて本年満30周年を迎えました。  
これを記念した事業が行われましたので、ご紹介します。

### 商工会法30周年行事

#### パート1 (会員アンケート調査)

### 経営相談指導には98%が満足

商工会では、30周年を迎えた本年度、全会員の商工会に対する意見を聞くことにより事業活動、組織活動の改革と向上を図ることを目的としてアンケート調査を実施しました。以下、その結果を抜粋して掲載します。

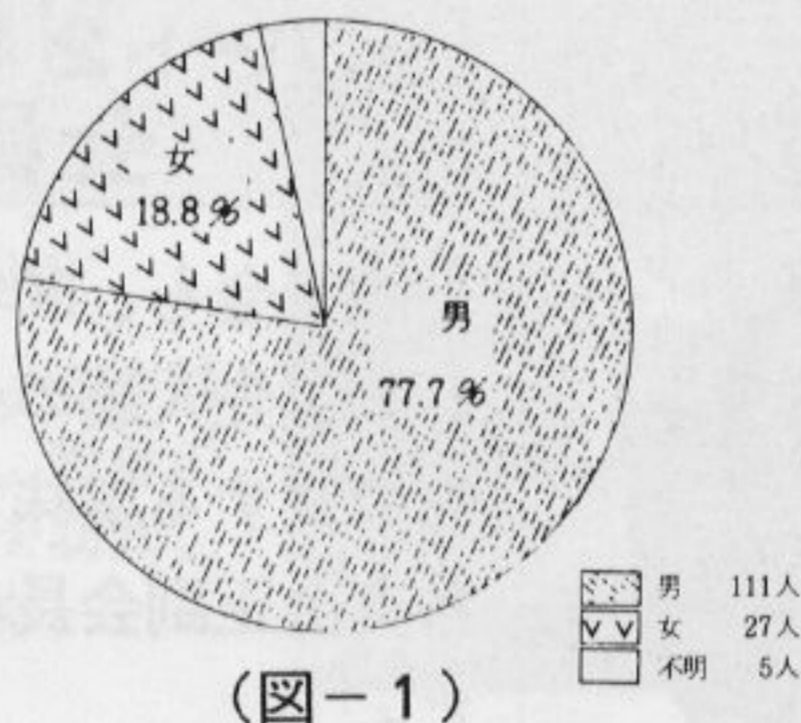
①調査の時期	③回収結果
平成2年6月1日現在	配布枚数 281枚
②調査対象	回収枚数 143枚
全商工会員	回収率 51%

#### 1. 回答者の男女別・年代別

今回の調査の回答総数は143人で、男女別では男性が111人で全体の77.7%を占め、女性は27人(18.8%)であった(図-1)。

これを年代別にみると40才代が26.6%50才代が31.5%で全体の58%を占めている。

特に業種別では、建設業、サービス業は、年代が幅広く分布しているが、製造業、小売業、卸売業では40才代以上が多い。



(図-1)

#### 2. 回答者の企業従業員規模別

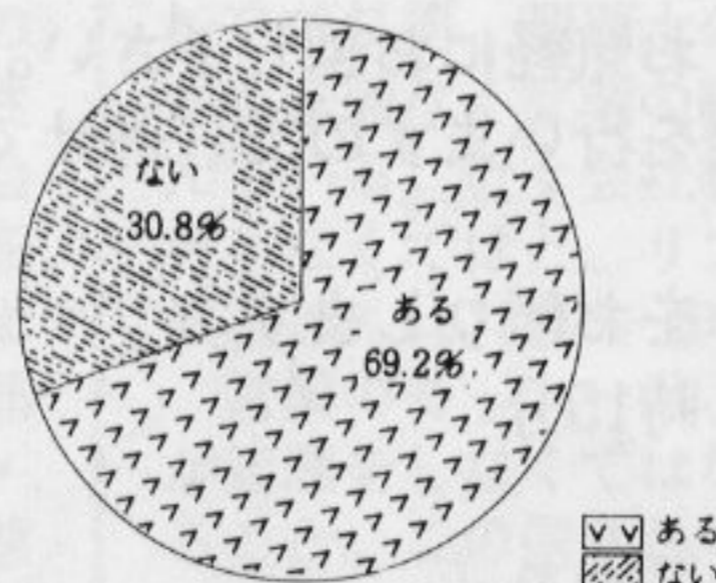
『従業員0人』が26.6%、『従業員5人以下』が39.2%で、合わせて65.8%を占め、小規模企業がかなりの部分を占めている。

製造業においては、従業員が31人以上の企業も8件あった。

#### 4. 商工会の経営相談指導

商工会の相談指導を69.2%の方が受け、残りの30.8%の方が受けたことがないと回答している(図-3)。

相談指導の内容をみると、『満足している』が64.6%、『まあまあ満足している』が33.4%で、合わせて98%になっている。不満足は2名(2%)であった(図-4)。

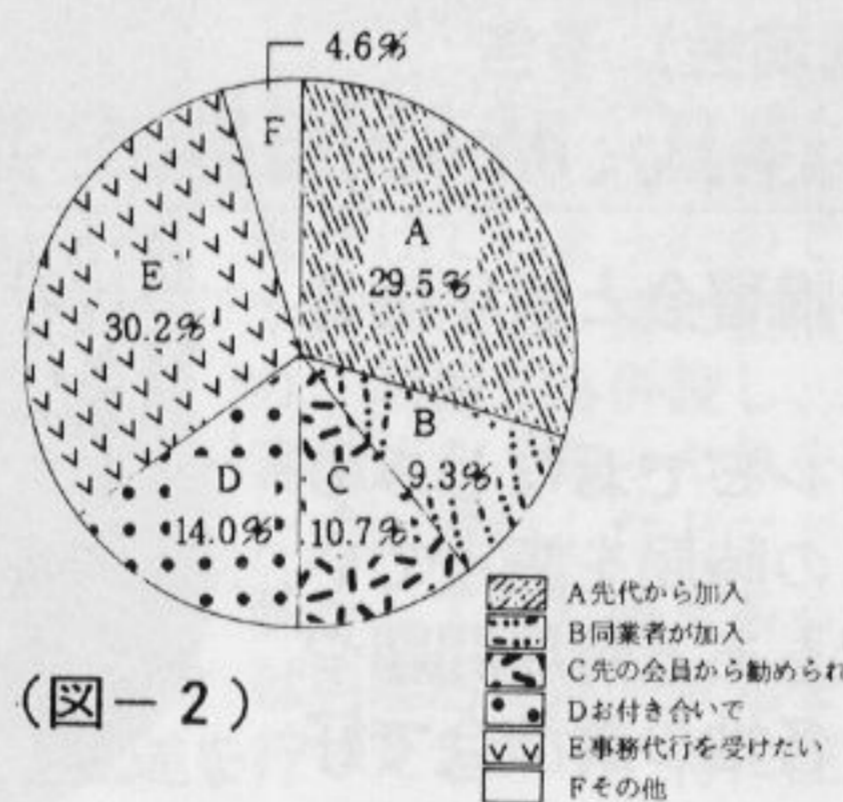


(図-3)

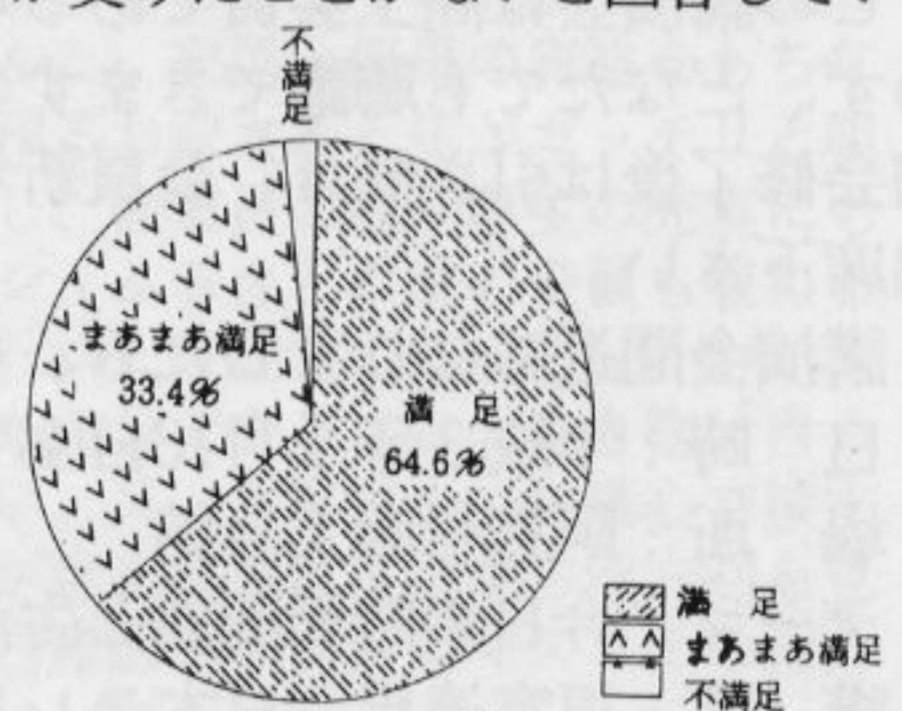
#### 3. 商工会への加入動機

『各種事務代行を受けたいから』と回答した方は30.2%、『先代から加入していたから』と回答した方は29.5%で、半数以上がこれに該当する(図-2)。

特に製造業、サービス業は、『事務代行を受けたいから』加入した方が多く小売業、建設業は、『先代から引き続き加入している』方が多い。



(図-2)



(図-4)



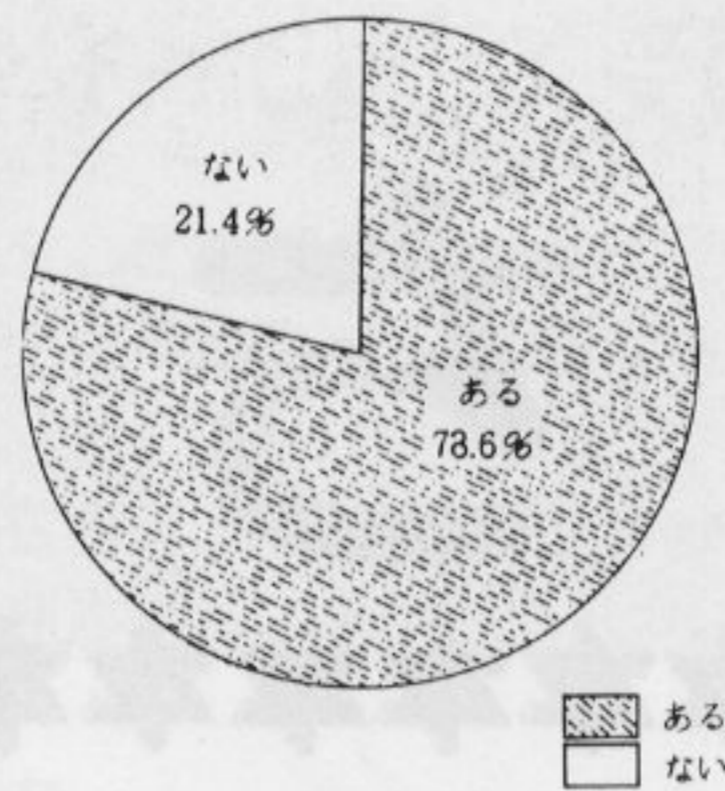
5. 商工会の事業

回答者の78.6%がなんらかの商工会事業に参加している(図-5)。

複数回答であるが、『各種講演会・講習会への参加』が23.1%、『通常総会、新年総会への参加』が20.2%となっている。

業種別にみると、『各種講演会・講習会への参加』は、製造業、小売業、卸売業が多く、建設業、サービス業は、『通常総会・新年会への参加』が多い。

また、参加したことがない方の理由は、『仕事が忙しい』が50%で、『わずらわしい』と『関心がない』の無関心派も50%となっている。

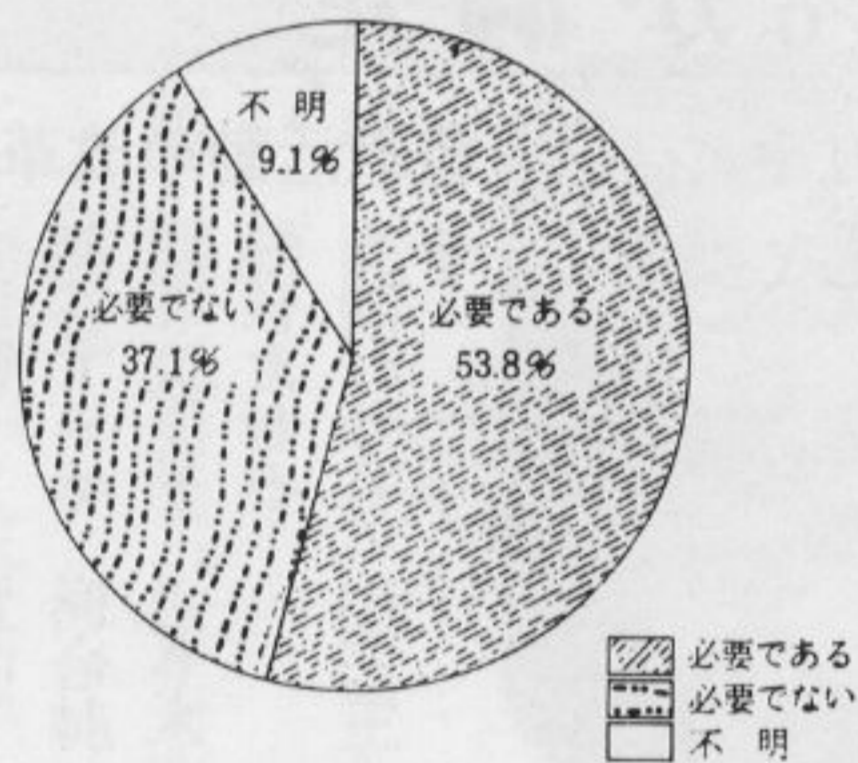


(図-5)

6. 支会事業について

支会の必要性について、『必要である』と回答した方は、53.8%、『必要でない』と回答した方は37.1%であった。(図-6)。

特に、製造業、小売業では、『必要でない』と回答した方が『必要である』と回答した方を上回っている反面、建設業では、逆転している。



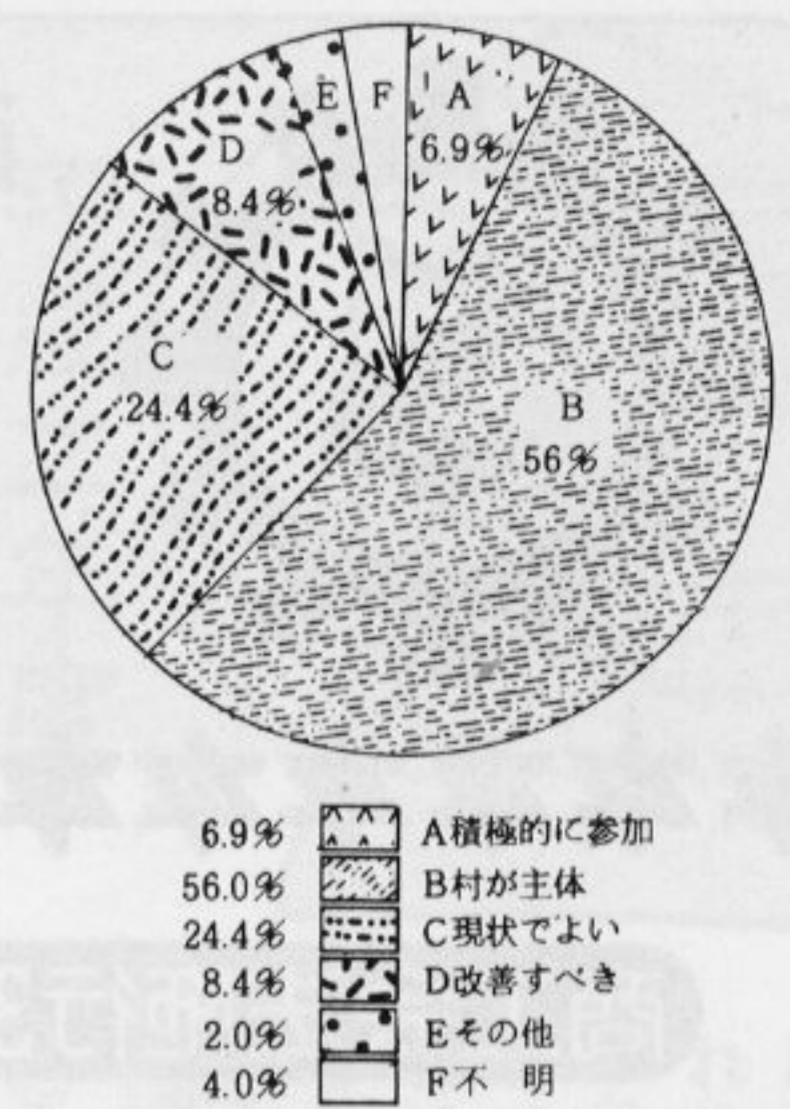
(図-6)

『必要でない』方の理由は、『支会活動がない』の理由が46.4%、『わからない』が25%であった。

特記したいのは、この問いに回答しなかった方が、他の問いに比べて9.1%もいる点である。

7. 阿智の夏祭りについて

回答者の56%が、『村が主体に』と回答している。また、『村が主体に』56%、『改善すべき』8.4%、『その他』2.0%で、この三者を合わせると66.4%の方が、現状の夏祭りの実施母体の変換ないしは改善を望んでいる。反面、『積極的参加』6.9%、『現状で良い』24.4%を合わせて31.3%の方が現状を肯定している。



(図-7)

しかし、『積極的参加』と回答した方に労働奉仕について聞いてみたが、実際の労働奉仕は、『一日か二日なら出来る』と回答した方が76.2%であった。

(注：アンケート調査時点は6月1日現在、今年の夏祭りは7月28日～8月16日となっている。)(図-7)

業種別にみると、各業種とも『村が主体に』の意見が他の意見を上回っているが、製造業、小売業では『現状で良い』とする意見が他業種に比べて比較的高い。

また、年齢別に分析すると『村が主体に』とした意見は各年代とも他の意見を上回っている。20代、30代は、『現状で良い』とする意見が割合高く、次の時代を担う40代に『村が主体に』とする意見が多い。

商工会施行30周年行事

パート3 (新春講演会) 予告  
福富 達氏、時局問題を講演

恒例となりました新春講習会と新年総会の日程が決まりました。

講演会の講師には、テレビでおなじみの福富達氏を迎えて、今日の時局を語っていただきます。専門分野でもある時局問題や政治評論は定評があり、各地の講演会で好評を博しております。

この講演会は商工会員であるなしを問わず、どなたでも聴講できますので、お気軽にお越し下さい。講演会修了後は引き続き、会員新年総会を行いますので、併せてご出席下さい。

講演会間近になりましたら、チラシをお配りします。

日 時：平成3年1月18日(金)午後1時15分

場 所：阿智村商工会館

テーマ：今日の時局問題と生活との関わり

講 師：福富達氏 日本テレビ(前)解説主幹



福富 達 氏

パート2 (新会員加入推進)  
会員数300名の大台に

商工会も、30年を迎えいよいよ円熟期に入りました。先人達のつくり上げた組織も、更に強固なものにする意味で、11月18日(日)、執行部、総務部、各支会正副会長による新会員加入推進を行いました。

30周年記念行事にふさわしく、総会員300名の大台に乗りました。

「一人の百足より、百人の一足を」と、ことわざにありますが、大勢の力を集め、互いの知恵を出し合い、助け合う事により、地域商工業の発展につながることは申すまでもありません。

30周年記念事業もいろいろ趣向をこらして、開催されていますが、もっともふさわしい記念事業であったと思います。



海外視察

『百聞は一見にしかず』  
韓国

青年部長 虎岩良知

商工会青年部結成二十五周年記念行事として行われた、下伊那支会の海外研修に、十一月四、五、六日の三日間、全国連中央講師の小川元先生の参加もあって、総勢十九名で韓国ソウルに行ってきました。

二日目、韓国輸出産業の中でも注目を集めている、毛皮産業の大手「道進ファッション」を視察しました。  
一、複雑な人手加工が必要な毛皮加工で雇用の増加を狙う。  
二、韓国特有の手工業技術を活用できる等のメリットを考えて、一九六九年、金聖植という人が会社を設立した様です。

実際に工場を見

学して、毛皮製品は非常に多くの工程と人手が必要な事が良くわかりました。見学したミンクのロングコートの生産では、ドレーシング、成形、組立、付着、手縫い工程に分かれます。中で特に関心を持ったのは縫い合せと板張りの成形工程です。私自身、原皮を

ある程度の形に切り、それを何枚か合わせればコートの形が出来るものと思っていたのですが、実際はそんなに単純ではありません。原皮を幅約五ミリ、長さ約二十センチ位に斜めに細く切り、それを少しずつずらしながら縫い合わせ、コートの各部分の形にして行きます。  
何十人も女性が行うこの手間のかかる縫い合わせの工程を見て本当に驚きました。板張り工程は、縫い合わせてできた皮を裏側を上にして板とコートの型紙を置いた上から大きなホットキスで張り付けて行くのですが、こうして出来た板の上のコートは、幾何学模様さながらに縫い目ばかりで、いかにも手間がかかっていると言わんばかりです。ちなみにミンクコート一着にミンク原皮四十八匹を使い、この様な工程を経て一日約百着のコートを生産していると

従業員は三千名、平均賃金は五十万ウォン（日本円では約九万円）。韓国平均が三十五万〜四十万ウォンですので恵まれた給料です。しかしながら、作業環境は気の毒なほどで、製品を販売している直営店の華やかさに比べると表と裏の格差がありました。これは韓国全体のイメージにもつながる所があり、ソウル市内の近代的なビルを見て躍進に驚くと共に一般の生活や商店街の様子から、その格差にまた驚いたのと同じ様な気がします。  
「百聞は一見にしかず」実際に視察して韓国のイメージを新たにしました。

「芸術の秋」「味覚の秋」  
を満喫して

婦人部副部長 水上幸美

十月十八日早朝、参加者十三名を乗せたバスは、商工会婦人部視察研修の旅に出発しました。

最初の目的地信濃美術館では、「アメリカに渡った美術家たち展」の開催中で、荻原守衛・池田満寿夫等、有名な美術家達の作品と、東山魅夷館では、「唐招提寺への道」

の展示等鑑賞しました。物音一つしない静けさの中に作品が展示され、光線や鏡等使って、作品が一層美しく見える雰囲気は、知識のない私にさえ、感動を与えてくれました。いろいろ感銘させられて美術館を出て、善光寺を参拝し、仲店で思い思いのお土産を手にし、老舗の蕎麦屋さんで昼食を頂きました。  
長野大町線から南へ二キロ



近代的な「おやき工場」

程入った時に、「小川の庄」と看板が掛った「おやき村」がありました。

製造所の休憩室で、熱い蕎麦茶を頂きながら、常任顧問の小林さんにお話をお聞きしました。

人口が激減している小川村で、第三セクター方式により新しい村おこし事業として、「おやき村」が発足したそうです。従業員四十八名、採用

は六十歳以上、七十歳が定年とのことでした。  
おやきの材料は、小川村で収穫した野菜等を利用し、具の種類は七種類ありました。  
昨年はアメリカで開かれた物産展にも参加し、実演販売したところ、大好評を得たそうです。今年も関係者をアメリカから招待して、試食会を開き、意見を聞きし研究に研究を重ねているとの事でした。  
商品は保存性を考え、冷凍して出荷しているそうです。  
お話の間におやきの注文書が配られ、全員が注文致しました。隣の製造所では、六十歳以上とは思えぬ若さと気力が満ちあふれた従業員の方達が、作業に追われていました。  
小さな山村とは言え、新しい村作り事業の基本計画を立て、前向きに村中で真剣に取り組んでいる熱意に心を打たれ、私達も勇気付けられる思いがしました。  
お土産のおやきがだんだん出来上がり、息の出る様なおやきを車に積み込み、小川の庄を後にしました。  
車内はおやきの話で盛り上がり、私達も一度挑戦してみようという声も出ました。  
お天気にも恵まれ、楽しい一日を過ごすことができました。



!!チヨットむずかしかった!!

# エレクトロニクスショー

工業副部長 中道 旭 允

去る十月二十九日、建設部と工業部合同研修視察が行われ十八名の部員が参加されました。バスにて、紅葉には未だ早い二五六線で南木曾町へ、新築して間もない「社会体育館」を見学しました。

多目的ホールということで、壁部は檜材、体育館の他、鉄骨造りのホールや附帯設備がありました。木の表面に耐火処理がされ、準不燃建築物(木材は表面が炭化しても、中央部まで燃えるには時間を要し、鉄骨にも勝るといふデータもある)との事です。

木造体育館は、総面積二、三二七平方メートル、柱は唐松材でアーチ型、日本では最大のスパ

集成材の唐松アーチ型柱は、県内の齊藤木材の開発による製品だそうです。

木材の町、南木曾町のイメージをあらたにして。その後中津川市より高速道で名古屋へ入りました。

昼食に念願であった特大ビーフステーキで腹ごしらえ、吹上ホールで催されている、「中部エレクトロニクスショー」の参観になりました。

百五十余社の出品中、長野県からは一社のみでした。本ショーのタイトルは「先端のときめき、限りなき前進」とありましたが、正にそのもの、世の中の「FA」だ「O

A」だと見たり聞いたり、触ったり。進歩に驚き、内容はむずかしいものばかりでした。ただ主役であるエレクトロニクスメーカー出品物は、中部地方でも多くの企業が研究開発を進めており、多くの企業の研究開発が現在の限りなき進歩に種々な形で関係している事を知りました。

工業部のO氏、参観に熱が入り、帰りの約束時間を遅れる事しばし、皆で待ちました。岐路O氏看になる事しきり、堅い研修視察もなごやかな車中となり、楽しく有意義な日帰り研修が出来ました。

た好景気にも、ここに来て陰りが見え始めて来た。特に中小企業は将来の展望をしっかりと持って慎重に行動する事が大切であるとの言葉が印象的でした。

その後は一階の窓口にて、本店と全支店を結ぶオンラインシステムを見学し、実際に自分達の手で操作もさせていただきました。様々なデータが瞬時に得られるシステムに感嘆の声しきりでした。

趣向を変えた今回の企画は参加者からも大好評で、来年度に期待が寄せられています。

## 各部事業活発に開催

### 国金伊那支店視察

### 観待を受け感激!!

経済部長 小松 勝 文

他の商工会では例を見ない当商工会経済部特異の行事「経済懇談会」も今年で六回を数えます。

過去五回は各金融機関の代表者、それに村の理事者及び担当者を招いて、それぞれの立場から見た社会情勢や金融情勢をお聞きしてきました。

しかし、マンネリ化の傾向が否めないため、今年は趣向を変えて「経済部の研修視察」

とタイトルを変え、国民金融公庫伊那支店を訪ねる事にしました。

我々、中小企業の身近な国の金融機関である国民金融公庫を視察する事により、一層の理解を深め、最近の金融情報を得、又我々阿智村商工会の熱意も汲んでもらおうというものです。

好天に恵まれた十月二日、岡庭商工観光課長の参加をいただき、正副会長、それに経

済部員、事務局と総勢十名にて実施しました。

車二台で午後一時に伊那市街にある伊那支店に到着した一行は、支店長をはじめ男子職員総出の迎えに感激し、国民金融公庫が阿智村商工会に向ける熱い期待を感じとる事が出来ました。

三階の会議室に案内された一行はさっそく、支店長さんと次長さんの歓迎のあいさつを受け、支店長さんの国民金融公庫のシステムとか役割、それに最近の金融情勢をお聞きしました。

お話しの中で長期続いてき

## 信金だより

「カードショッピングサービス」と「サンデーバンキング」のご紹介

☆「カードショッピングサービス」とは、しんきんのキャッシュカードを使用して、キャッシュレスでお買物ができるサービスです。

◆販売店では、バンクPOS専用端末機をご用意いただきしんきんとバンクPOSのお取扱の契約をしていただきます。売上代金は、販売店の預金口座に翌営業日付で一括入金になります。

◆お客様は、お手持ちのキャッシュカードでお買物ができるようしんきんでバンクPOS利用契約をしていただきます。

☆「サンデーバンキング」とは、今までの土曜日と同様に日曜日にも現金自動支払機で現金のお支払いができるようになりました。

◆稼働日は 正月を除く全日曜日 (八時四十五分~十七時)

◆稼働店舗は 本店・鼎・西・橋北・伊賀良・市田・上飯田・松尾の各自動支払機コーナーです。



### 商工会で

### ゴルフの醍醐味を!!

厚生部長 荒井利典

厚生部の事業として長年行ってきたソフトボール大会を「年令、老若男女を問わず楽しめるスポーツ」と言うことになり、マレットゴルフに切替えて三回目になります。会員企業の「木槌の森マレットゴルフ場」を利用し「企業診断」も兼ねて……。

十月七日台風の影響で心配された天候も曇り空、約五十名の参加者によって予定通り開幕することが出来ました。本来マレットゴルフは総打数の少ない順に上位入賞になる訳ですが、このままですと経験者や日頃スポーツをやっている人達は当然優位になり、初心者や一般高令者、特に女性の方々は遠慮され易くなります。そんな事を考え厚生部では、昨年よりハンディーキャップ（バランスをとる為に優位な側に与える不利な条件）方式を取り入れております。

競技者がプレーをするには難しい事もなく、ゴルフ場のルールに従って打てばいい訳で、その結果の総打数に別に決め

られた方法によってハンディーの計算をして順位を決定します。「ハンディーによって助けられ平均的な順位になる」と言われております。

昨年は部員や事務局の不慣れと言う事もあり「幻の優勝者」と落胆された方もありましたが、本年は概ね順調に処理することが出来ました。

小雨がパラつく頃には全競技も終了し、会場を会館大ホールに移して、表彰パーティーが盛大に開かれました。賞品は精一杯の予算の中で事務局の女性職員により、ユニークな発想で用意をして頂き全員に渡るように配慮しました。

今回の優勝者は地元の利でしようか小笠原正敏（同ゴルフ場主）さんでした。第一回目にご自分で寄贈していただいた優勝カップを掌中に収めて一言。

「優勝カップが小さすぎるなあー」とか?……乾杯のあと賑やかに懇親会になりました。司会者の独断と偏見で参加者の多くの方からスピーチを頂きました。「厚生部のお陰で初めてマレットゴルフをして見た」「ホールインワンがもう一寸で……」「次回ももう少し頑張りたい」「賞品が軽すぎるが?」等々ユニークな言葉が飛び出し、女性職員

から「開けて見て!高価な物ですよ!」の声も掛かります。大変賑やかになった処で優勝者の万才でお開き。楽しく一日を終る事が出来ました。皆

### 商圏七〇キロの商業都市 長浜楽市

商業部長 倉田満雄

本年度は、大型店対策として商業部では、先進地視察研修先を滋賀県長浜市の「長浜楽市」と定め、十一月八日に実施しました。

会員の他、特別に役場の岡庭課長さん、下平信金支店長さんの参加をいただいて、総勢二十六名で出掛けました。

車中、すでに何回か同市を訪れている下平支店長さんから、長浜楽市の様子を説明いただき予備知識を得て、長浜商工会議所を訪問し、吉井課長さんから研修を受けました。国道バイパスの通過に伴って、その沿線に二件の大型店舗の届出があり、絶対阻止運動が展開され苦労した後、市と商工会議所が指導に当り、株式会社 西友と地元出店予定者四十二名で、協長浜商業開発を創設し「長浜楽市」と決定したそうです。

地元主導型で、地元専門店と西友を核として、商業機能の結合の街をテーマに、①楽しいコトやモノ、情報がいつも溢れている「現代の楽市楽座。」

様の協力に感謝し、次回はより充実した内容にしたいと思っておりますので、より多くの参加をお待ちしております。



楽市店舗をバックに記念撮影

私は長浜楽市を視察して、阿智村の将来を思う時、大型店対策はもとより、村全体の発展策として、史跡、風土、温泉、地場産業、商工業、農業等総合的村づくりを、一日も早く、会員と村を上げて取り組まなければならぬと肝に命じ帰路につきましました。

客百三十万人、三十四万世帯を目標に、駐車場千五百台、という近代的な街が出来ておりました。又、長浜市では、既存市街地活性化事業として、昭和六十一年に「商業近代化地域計画」を策定し、市営駐車場、文化遺産の活用、買物公園の整備を行い、魅力ある商店街づくりを進めると共に、六十二年度には「商業パイロット諸施策」が設けられ事業が進められており、本年七月には、ガラス工房「黒壁」をオープンさせる等、市と会議所、地元が一丸となって計画の第一段階を終了することでした。現在は、第二段階ともいべきか、「市街地核施設準備会」なるものが結成されており、構想検討が行われております。



### 商売繁盛と 労働安全を祈願

建設部長 水野元一

去る十月十六日お太子講祭を、昼神の阿智神社で行い、企業の発展と安全を祈りました。

いお祭りができました。その後商工会館で、南信土建の岡本社長（労働省防災指導員）さんから、労働災害防止について……労働保険も自動車保険も、事故が無ければ掛金も少なくなると同じで、会社では保険会社に支払う金額を少なくして、働いて下さる皆さんに多く支払えば、お互い気持ちよく安心して働くことが出来、これが事故防止の一番近道とのユニークな講話をいただきました。

### 下呂温泉 観光協会と懇談

サービス部長 田中直志

十月十七日サービス部は、観光部と村観光協会の共催により先進地視察として、下呂温泉観光協会（下呂町役場）

を訪問し、役場観光課職員、観光協会専務理事、事務局長等から観光事業について説明を聞き懇談を致しました。下呂町は観光と林業の町で旅館ホテル、民宿が七十企業、保養所等二十三、土産品関係二十三、料理飲食店九十、遊戯場八、ドライブイン五の規模の町で、入込客数は年間百五十三万人余を数え、今後二百万人を目標に計画が立てられており、観光協会の事業予算は平成二年度で一億一仟五百

万円の大規模協会でありました。約二時間話し合いをした後、町内を案内して頂き、合掌村で昼食をとり乍ら、協会長さんの出席をいただきお話しを聞くことが出来ました。街路灯視察や合掌村の見学では人形歌舞伎の竹原文楽館、民俗資料館、国指定重文の旧大戸家等の建物を見、民芸の郷「花笠館」「市倉」で飛騨特産品ヤマメの味見をし、「漣倉」見学ではお土産品を自分で買って買ってきました。

伍和支会が目玉行事の一つ家族従業員の一日親睦慰安旅行が、今年も十月二十八日に好天に恵まれ実施された。

参加人員二十六名  
（事務局の原さんも参加を頂いた。）

### 支会だより

六時伍和出発、雲一つ無い天気、窓からは紅葉が始まった連山を眺め、車中ではおやつアルコールそれぞれ配られ、なごやかな雰囲気の中に目的地京都嵐山に到着。昼食後それぞれ「有名人ショッピング街」に散る。大勢の観光客の群の中で

仲間とはぐれないようにして、思い思いの土産を買求めた後、次の目的地「映画村」へと車を移動。映画村では東映城大手門をバックに専属スターといっしょに全員で記念撮影。

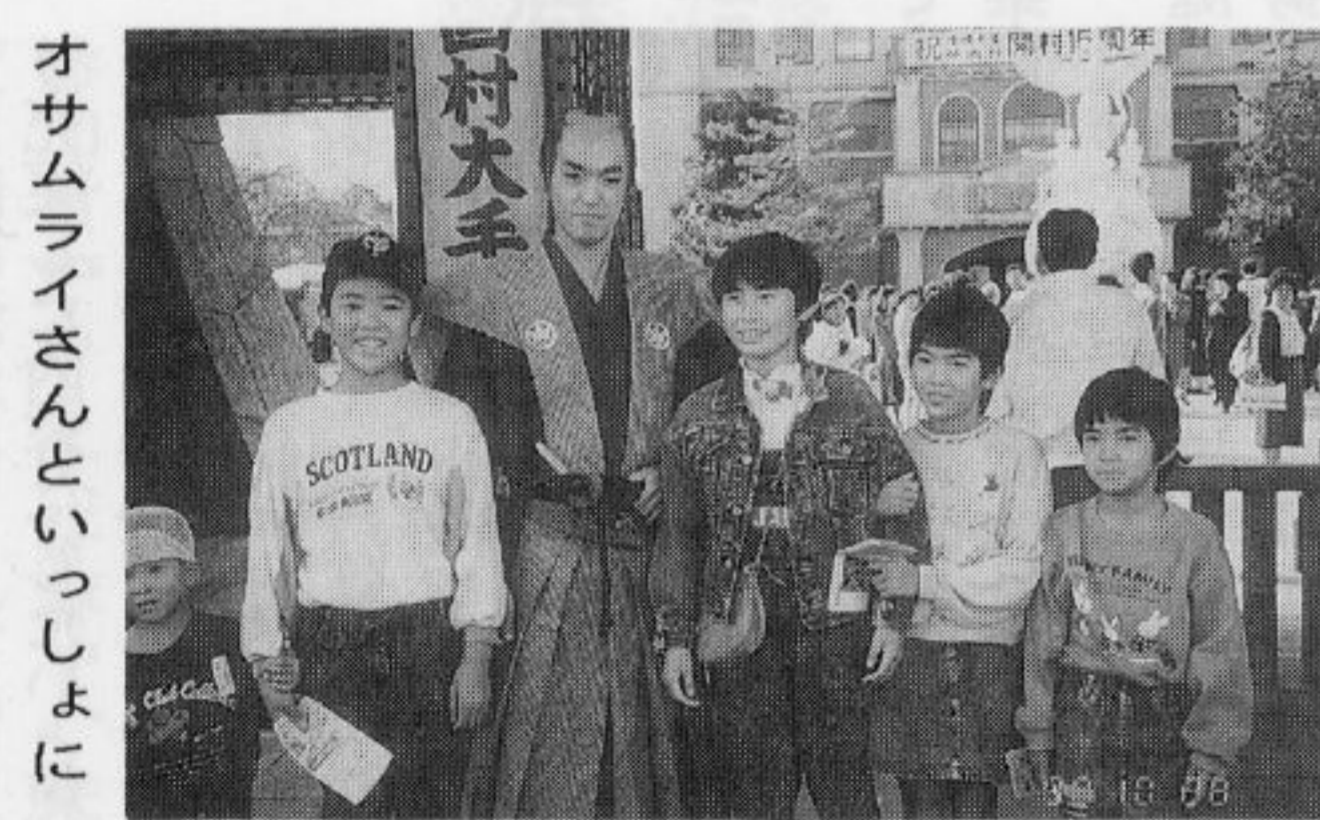
撮プールと港町屋敷町へ。本格的な時代衣装、ミニラウンド、スペースハウス、スターハウス、明治通りには人力車、チンチン電車が走り、吉原通りではオイランと一緒に記念撮影された方も何人かいた。

## 京都映画村 テレビスターとご対面！

### 伍和支会

愛染横丁長屋では、愛染橋、お札所、銭形平治の家、寺小屋、太助長屋等映画の舞台裏を見学して来た。

日本橋通り、ロケーションスタジオ、ガラス張りスタジオ、閑所、江戸の町、宿場町、SFXチャンバラント宿場町（山が崩れ裂け目からナゾの三面獣大魔神が出現のトリックオープンセット）を見て特



オサムライさんといっしょに

が入り、嵐山、有名人ショッピング、映画村での思い出を語り、カラオケで自慢ののどを披露し、一日なごやかに有意義に過ごすことの出来た旅行だった。

昨年新しく出来た「ふるさとの杜」には竜神館。森の未来館、かえる神社、屋敷門、山のくらし館等がありました。が、時間がなく全部見る事が出来ず残念でした。この合掌村を見るだけでも三〜四時間は必要と思われました。阿智村でも子供遊園地、パークゴルフ場等の公園整備を急ぎ、昼神温泉への来客が長時間滞在出来る施設の必要性を痛感した先進地視察でした。

### おわび

シリーズ我が家の秘蔵写真は、紙面の都合上、お休みさせていただきま



# 伍和・春日地区へ街路灯設置

## 活性化と美化、防犯に一役

平成二年度工事を進めてきた、伍和地区と春日地区への街路灯設置工事は、伍和地区のバイパス添い設置予定の未設置分五基を除き、工事が完了し商業活性化と美化に一役買おうと共に、村民からは防犯にも役立つと喜ばれている。

この工事は、昭和六十三年度の駒場地区への設置に引き続いて行われたもので、伍和地区へ四十四基（未設置分除く）、春日地区へ三十一基の計七十五基設置された。

総事業費は九百六拾八萬円で、うち村補助金五百六拾萬円で残りは自己負担で設置されたものである。

# 大阪花の万博と奈良の旅

九月六、七日、参加者二十七名で大阪で開かれていた、花博視察に出発しました。当日は残暑が厳しいのが心配されましたが、車中厚生部長の名司会により大変楽しく花博会場に到着しました。

一日の入場者は五万〜十万人との事で混雑が心配されましたが、各パビリオンへと、各々グループをつくり、見学コースへと歩を進めました。

## 世界の花を一会場に

厚生副部長 井原忠亮

残暑が厳しく帽子を調達して、世界の庭園を見ることにしました。

テレビを通じ予備知識が有りますが、実物は迫力があり国柄や特長を民族衣装で説明し、国際交流の雰囲気も十分に見学出来ました。

中でも韓国の庭園と建物、土産品に人気が集っています。

南極の小さな花等は、自然の風雪に耐え一時期に見事な花を咲かせ、砂漠に咲くサボテン系の大きな花（人間が三人位入ってしまう）は見事でした。

すばらしい花を見て、自然破壊の進んでいる今日を反省させられる思いでした。

した。

人気のあるパビリオンは、一時間もの時間待ちで十分見学も出来なく残念でした。

記念撮影の後会場を出て、法善寺横町のホテルくら本に着きました。

夜の宴会は思い出の一つ、荒井部長の名司会より、コップを傾け楽しい時間を過ごしました。

サシミ、茶碗むしの無いお膳、ゴキブリも出て捕物騒動、最後は遠山昭市氏の年期の入った芸で時間のたつのも忘れてしまう程でした。

翌日も天候に恵まれ寺院めぐりには最高の日でした。法隆寺、薬師寺、大仏殿等を見て、天理インターから帰路に着きました。

車中も行き同様楽しく、カラオケあり、尻とりありで楽しく帰着出来ました。

## 企業探訪

No.17

### 青木屋

山々を彩った紅葉も散りつくり、冬の訪れも間近な11月末の夕暮、アマゴ、岩魚の養殖にお忙しい戸沢の青木屋さんを訪問、当主渋谷さんからお話を伺いました。

《代表者》 渋谷 秀逸

《創業》 昭和46年

《従業員》 男3名・女5名（内家族男3名・女2名）

《営業品目》 アマゴ・岩魚の養殖・加工・釣堀・いろいろ焼き

渋谷さんがあまごの養殖に関心をもち始めたのは、高卒の年というから35年あまり昔の話である。当時智里村の助役さんであったお父さんから、水産指導所でアマゴの養殖講習会が行われる話を聞き、早速1ヶ月間の講習を受けた。講習を受けた人の殆どは、技術員・役場の職員で実際にやってみようとする人は極く僅かだったという。その後、昭和31年頃、部落の同志20人程で先進地視察を行ったが、翌32年から、32災・伊勢湾台風・36災と打ちつづく災害に遭って、魚を飼う状態ではなかった。しかし養殖の夢は捨てきれず45年に岐阜県の岩村方面へ視察に行き、稚魚を買って来て家で養殖をした



ころ、順調に成長したのに自信を得て、翌年2万匹の孵化を実施した。当時は生コン会社に勤めながらの養殖で、専門化したのは、昭和48年からとの事。当時地元の割烹旅館一軒で魚が全部はけてしまったので、こんなホテルがいくつかあればと、更に自信を深めて、規模拡大を図り、釣堀も併設し、現在に至った。その間お客様から「釣った魚を焼いて食べる場所を作った方が良い」などアドバイスを受けて営業に反映をして来た事もある。又、専門化した当時は料理店を巡回販売をし、20〜30本の魚でも飯

田まで配達を行ったという。特に注意しなければならないことは水の管理で、現在まで大きな被害はないが、台風などの時は一夜で全滅してしまうこともあるそうだ。家族は水産高校卒の長男、調理士の奥さんと、次男、保母の資格をもちながら未練なく家業の経理を預るお嫁さんと皆がガッチリと組んでいる。近々会社組織にし、従業員の福利厚生充実にも考えなくてはと、リフレッシュふるさと事業の役員も兼ねる渋谷さんは、常に一步先をみつめ、後継者の育成にも怠りない。

営業のモットーは、何事も自分でやること。生き物は自らが管理をしなくてはならない。又、お客さんには真心で接すること。この信念から、客が客を呼び名古屋から年六回も見える常連もあり、日航の機内雑誌ウインズ等マスコミの紹介も多い。



# 失業給付はルールを守って正しく受けましょう

失業給付は、失業中の生活を心配しないで求職活動に専念できるよう、就職の意思と能力があり仕事を探しても就職できない方だけに支給されます。

(仕事をやめたら必ず、支給されるものではありません。例えば次のような方は支給を受けられません。)

- ①自営業を始める方
- ②病気やケガで働けない方
- ③求職活動をしなくてブラブラしている方
- ④妊娠・出産・育児などで働けない方
- ⑤定年後、しばらく休養される方

(ルールを守りましょう)

失業給付を受けるには、必ず守っていただくルールがあります。

- ①就職(パート・アルバイト・臨時なども)したときは採用年月日、働いた日数など
  - ②内職、手伝いをしたときは、その事実と収入を(収入がないときも)
  - ③自営業を始めるときは、その開始の日を(自営の準備に入ったら)
- ※おわかりにならない点は、職業安定所又は商工会へ



## 平成二年度

### 各種表彰者

本年度、商工会法施行三十

周年に当り、各種表彰が行われました。  
又、関係団体の表彰も行われておりますので、御紹介させていただきます、今後の御活躍をお祈りいたします。

**商工会法施行30周年記念式典**

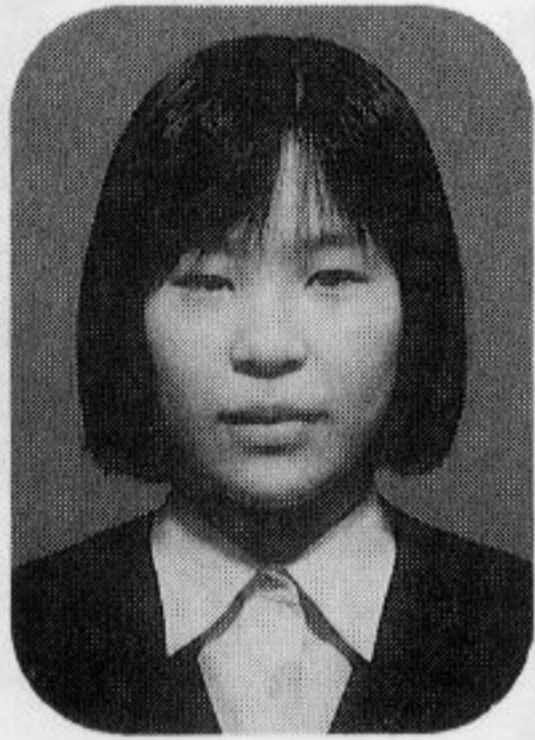
- ◎全国商工会連合会会長表彰
- ☆優良商工会 阿智村商工会
- ☆役員功労者 林 忠重殿
- 倉田 満雄殿
- ◎長野県商工会連合会会長表彰

### 団体関係

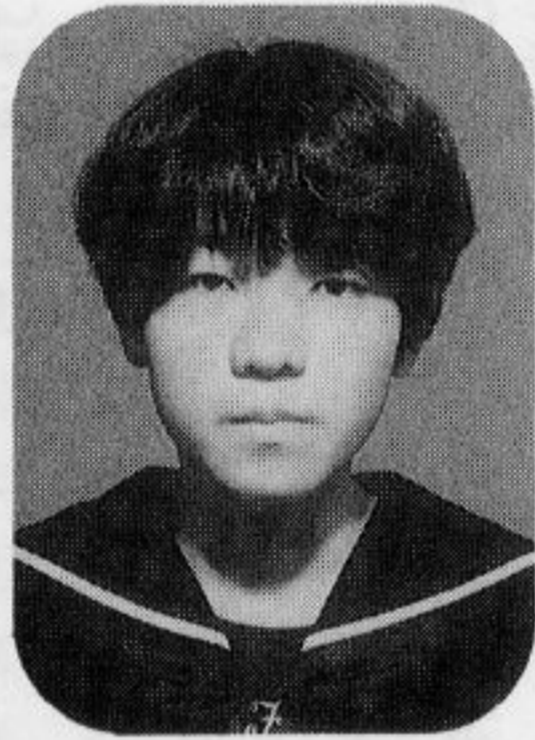
- ◎飯田税務署長表彰
- ☆法人会功労者 塚田 弘一殿
- ◎青色申告制度創設四十周年 飯伊青申連合会会長表彰
- ☆役員功労者 杵鞭 邦治殿
- ☆青年部功労者 林 和男殿
- ☆婦人部功労者 山口ちどり殿
- 大下 照子殿
- 中山 守殿
- 荒井 常子殿
- 鈴木 直美殿
- ◎飯伊食品衛生協会会長表彰
- ☆食品衛生優良施設 湯川沢 原 裕十殿
- (有)桂月 小島 嘉七殿
- 吉次庵 熊谷 孝志殿

## 珠算検定合格おめでとう

11月18日



松井 雅さん



田村めぐみさん

- 二級 高間つかさ 山田正人
- 勝野まゆみ
- 三級 園原久美子 佐々木剛
- 熊谷すみか 河合純一
- 今村博一 玉置伸子

- 一級 田村めぐみ 松井 雅
- 四級 古川有希美 園原理恵子
- 米沢郁恵 木下正之
- 河合裕佳 井原亜矢子
- 久保田知則 木下耕一
- 倉田 勝 桜井正哉
- 増井茂樹 林健太郎
- 石原恒平 上甲真理
- 井原絹代 熊谷佳美
- 原 陽子 原テルミ
- 小笠原和美 下原裕美
- 小松澄代 石原美穂
- 園原裕二 原洋平
- 熊谷 厚 熊谷めぐみ
- 園原 恵 原亜沙美
- 佐藤昌則 山田 香
- 内田弓子 下原大介
- 小松歩美
- 八級 松井隆佳 林 良樹

## 編集後記

○国連平和維持活動に揺れ、中東紛争の巻ぞいの人質が全員、解放されるようになった。

その中で皇室行事か、国家行事か、はたまたその存在そのものについても議論を残したままである。

即位の礼が一応終わった、多くの国賓を招いて、日本の存在を世界にアピールするには絶好の機会であったかもしれない。

○駒場商店街に続いて、春日地区、伍和地区に街路灯がついた。

夜間非常に明るくなった、住民や通行する人の心も、その様にあってほしい。

○年末から来年初めの行事予定が発表された。忙しい中に我々商工業者にとって、良い年末、年始であってくれる様にと願って止まない。

会報編集委員長

園原峯正

